

## 『神様の不思議発見』 ヨハネの福音書 5章17～25節 2017.7.23(聖日礼拝説教より)

『まことに、まことに、あなたがたに告げます。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞く者は生きるのです。』 ヨハネの福音書5章25節

①自分を神と等しくする者(18節)…創世記3章で、悪魔はアダムとエバを誘惑する。「善悪を知る木の実を食べると目が開け、あなたがたは神のようになる！」と。2人は騙され、神を裏切り園から追放され、神は言われた。「見よ。人はわれわれのひとりのようになり善悪を知るようになった(3:22)」と。人が神と等しくなるとは、「誰の指図も受けない！何が正しく、何が間違っているかは自分が決める！」と神に反逆すること！そんな彼らにイエス様は、父なる神と「ひとつ」に結ばれ、共にある祝福を教える。①19節「子は…自分からは何事も行うことができません。」⇒自分勝手することなど一つもなく、父なる神と、思いや願いをひとつに！徹底して「従順」に歩む時、祝福となる！②19節「父がなさることは何でも、子も同様に言う！」罪を罰し、悪を滅ぼし、人を愛して救う「天の御心」を地上で行う！これこそ子なる神の役割！③20節「それは、父が子を愛して…」どこまでも愛されてから従うことを強調！父なる神と子なる神が愛と信頼において一つになってこそ、私たち罪人の救いが実現する！私たちは、その奇跡に仰天する(20節)。

★夫婦も、家族も、教会も、一つ思いで問題に向き合えたら、大きな奇跡が起きる！逆に、バラバラでは救いも奇跡も起きない。祝福の秘訣は、互いに結ばれ、信頼し合うこと。

②すべてを逆転する神の不思議(20～25節)…父なる神と御子による仰天の奇跡とは、21節『死人を生かして命を与える』こと！神に裁かれ、永遠に滅びるはずの罪人に生きる道が与えられる！24～25節『…死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞く者は生きる！わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち…死からのちに移っているのです』。イエス様こそ、信じる者の人生を逆転されるお方！善悪の木の実を食べた後、人は自分中心になり、「共に泣き、共に喜ぶ」関係は壊れ、一人で悩み、一人で頑張り、潰れていく！これこそ悪魔の思う壺！『世の罪を取り除く神の小羊』であるイエス様が、神から離れた私達を、本来の居場所へ戻される！神と結ばれ、人と支え合い、呪いを祝福に、苦しみを喜びに変えられる！

★ゴリアテを倒した少年ダビデのように、偉大な神とひとつ思いになり、あらゆる試練を逆転される神の不思議を発見しよう！